

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6 年 3 月 29 日

事業所名 多機能型事業所キートス・トリー 放課後等デイサービス

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
体制	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	1	3	1	・上手く割り振れておらず少し狭く感じる時もある ・時々学習室の人数が多くて大変な時がある。個別室で宿題を何人かして分かれるなどもできればいいなと思うことがある。	3フロアでグループ分けを行い、対応していきます。
	2 職員の配置数は適切である	4	1	0	人数が多くなってしまっているから、十分かと言われると不十分だと思う。倉庫も小さい	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	2	1		
業務改	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	2	0	・前日の振り返りを朝礼だけでなく昼礼でも実施するようになって、些細な部分もパートさんとのコミュニケーションになっていいと思う。 改善点として、昼礼の共有内容をhugに打ち込む作業が特定のスタッフしか行っていないので少しでもスタッフ間で割り振って分担すべきだと思う。	各スタッフの役割を明確にしていきます。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1	0	具体的な声があるなら実践出来るものは行いたいですが、把握出来ていないので改善できていない。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	1		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2	0	保護者からLINEや電話での問い合わせや相談を聞き、共有することは出来るが改善や実施に関しては曖昧な部分がある気がする。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	0		
支援	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	2	0	モニタリングの共有をしてもらっているが、ニーズや方針の変更が自身が考えているものでいいのかわからなくなる場合があるので、出来るだけ1人で考えてどうしてもわからない場合は聞くようにする。計画は作成したことがないので分からない。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	3	0	利用者全員には行えていない	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	3	2	0		
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	2	0	明確な長期・短期目標はどの利用者にもあるので固定化しないとかではないかと思っている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	2	1	目の前の状況に手一杯になることが多い。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	1	0		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1	0		
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	2	0	振り返りは各週別で行われている。行き帰りの送迎中やその日に起こった児童同士のトラブル等で共有すべきことは言ってもらっている。または次の日が休みで共有が出来ない場合は、事前にLINEや口頭で出来事を伝えている。 必ずではないが行えている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	2	0	日誌は書いているが改善には繋がっていない	活動日誌に書いた内容は朝礼会議等で共有していきます。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	1	0		
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	0	0		

保護	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	2	0		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	3	2	0	保護者が理解していない場合や連絡をくれない場合がある。また子供が保護者に伝えてない場合もある。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	3	0		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	2	0		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	3	1	まだないのでわからないが、そうなった場合は提供する	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2	0	当事業所で受けていないが、個人でカンファに参加した。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	2	2		
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	1	3	1		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	2	0	スタッフの人数が足りずお話が出来なかった場合は、電話で聞いたり話したりしている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	3	0		
の説	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	2	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1	0	知識不足のため適切な内容は答えれずにいる	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	2	3		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	0	完璧にはまだだと思いが、していない訳では無いと思う。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	2	0		
	35	個人情報に十分注意している	4	0	1	まだ出したままがある	注意喚起をこまめに行い徹底できるように努めます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	2	0		
等	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	3	0	職員間でもこまめに（月一でも）対応の手順や確認をする時間があるとより安心できる気がする	定期的に共有できる機会を作っていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	0		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	1	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2	0	保護者から情報提供してもらっている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1	0		